※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3016

令和５年度　学校設定教科

教科	(学)国際教養	科目	日本語入門	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書							
副教材等	自作プリント、ICT 機器　など						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学校生活や日常生活にまつわる日本語を学びたい人向けの講座です。
・ひらがなの学習や単語の習得を基本とし、文章を書いたり読んだりする活動にも取り組みます。
・積極的に学習する姿勢を大切にしてください。

２　学習の到達目標

・学校生活や各教科等の学習に、日本語で取り組むことができる。
・プリントを用いて、学校や日常生活にまつわる基本的な単語、文法を習得できる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学校生活や日常生活に必要なひらがなや単語などの知識や技能を身につけようとしている。	自分の考えていることを形として外部に出力することができる。	日本で生きる上で必要な日本語力を身に付け、日本語を通して、他者や社会にかかわろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	ひらがなの習得 学校や日常生活などに必要な単語 文の構造	a:ひらがなを理解し、読み書きできるようにする。語句の量を増やし、語彙力を高める。 b[書]:ひらがなを用いて単語や文章を書き表す。 c:進んでひらがなを活用し、日本語で表現しようとしている。	ワークシート 振り返り問題	ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

Ⅳ・Ⅴ	ひらがなの復習 漢字の練習 文や文章の作成	a：文を読み書きできるようにする。語句の量を増やし、語彙力を高める。 b[話/聞]：音節と文字との関係、アクセントによる後の意味の違いなどに注意して話す。 c：積極的に日本語で自分の気持ちや考えを表現し、他者との関係を築こうとしている。。	ワークシート 振り返り問題	ワークシート	パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度